

Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局
東部教育局
〒680-0846
鳥取市扇町2番地
東教発 H.23.6.2 104
<http://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

子どもの表現力を育む学校づくり 鳥取市立神戸小学校



神戸小学校は、自分の言葉で思いを語り、互いにつながりながら学びを広げる子どもの育成をめざしています。学習で身につけた言語能力を生かし、さまざまな集団の中で自己表現することを通して心を通わせるとともに、地域への愛着と誇りをもつことができるよう取り組んでいます。

国語科を中心とする取組

考えを深める

国語科では、話し合い・語り合いの学習活動を大切にしています。自分の考えをもち、その考えをもとに話し合いが活性化されることで、児童の学ぶ意欲が高まります。

語彙力の育成

- ・ チャレンジタイムに言葉のノートを作成する。
(「写真に言葉をのせよう」など、楽しく言葉とかわる取組)
- ・ 「暗唱詩文集」を作成し、全学級で暗唱に取り組む。

自分の考えをもち、発言をつなげる工夫

- ・ 初発の感想を全員が共有し、課題設定や話し合いの場で活用する。
- ・ 全文視写と教材文への書き込みをし、それをもとに考えをつないで、学びを深める。

思いをつなげる

他教科等の学習における取組

国語科で得た学びを広げる単元づくりに取り組んでいます。学習したことが、実際の生活場面で生かされることで、学習することの意義を感じ活発な学習が展開されます。

学びを広げる

単元づくりの工夫

- 例)国語科「つな引きのお祭り」で学んだことを総合的な学習の時間「神戸の伝統行事を学ぶ」につなげる。
- #### 国語科の学びを生かし、自分の考えをもつ工夫
- ・ 何をどのように調べるか、どのようにまとめるかなど、国語科の学びを生かして考えを広げる。

- ・ 神戸には岩坪の獅子舞があるよ。
- ・ つなひきのお祭りには願いが込められていたよ。獅子舞にはどんな願いが込められているのかな。
- ・ 誰にどのようなインタビューをしたらよいか。



地域行事は表現力を生かす場に！

地域とつながる

例えば、地域行事の「桃まつり」では人との出会いの場や体験の場を意図的に設定します。縦割り班で異年齢の友だちと話し合うことや、人とのふれあい、かわり合いをもつことを通して、身につけてきた表現力を生かす場としています。



野菜の販売

- ・ どんなことをしたら地域の方に喜んでもらえるかな。
- ・ 砂見太鼓を見てほしいな。
- ・ 地域の方々で育てた野菜を販売したらどうかな。



砂見太鼓の発表

一人一人の思いを大切に、伝え合う学習の中で、子どもたちは表現する楽しさや仲間とつながる喜びを感じます。身につけた力を教室外でのばしていくことを通して、自分に自信をもち、生き生きと表現する子どもたちが育っていきます。

先人の教えにふれる

局長 久岡 賀代子

先日、14年前の教え子から便りがきました。「この連休に県外の友人を鳥取砂丘に案内した時に、社会科の学習で出会った遠山正瑛先生のことを思い出して、砂漠の緑化について得意になって話しました。……今、わたしは、やりたかった仕事に向かって頑張っています。……。」という内容のものでした。今は亡き、元鳥取大学農学部教授遠山正瑛先生との出会いは、担任や子どもたちにとって大変刺激的なものでした。遠山先生は子どもたちに、次のような言葉を言われました。

「大きな夢や目標を持ちなさい。夢や目標を持たないということは、生きて闇の中にいるようなものだ。やればできる。やらなければできない。」



学校では、学力向上や生徒指導のあり方等新しい教育について様々な取組や議論がなされています。そうした進取の雰囲気の中にあって、時に先人の生きざまにふれることで、私たちの教育活動の示唆となったり、将来を担う子どもたちにとって夢や希望を与えてくれたり、また、生きる力に影響を与えてくれたりするのではないのでしょうか。今後の意義深い出会いに期待しています。

「校種間の連携」を考えたキャリア教育の推進に向けて



「小学校におけるキャリア教育推進のために」より
 国立教育政策研究所 生徒指導研究センター 平成21年3月

全県から小、中、高、特別支援学校の担当者が集まり、キャリア教育の研修会が開催されました。最初に文部科学省の藤田晃之教科調査官の講義を受けました。その後、ワークシートをもとに中学校区ごとにグループワークを行い、キャリア教育を通して特に重点的に伸ばしていくべき力について方向性や具体策を話し合いました。

講義

最近のキャリア教育推進施策を踏まえて

生き方・在り方の基盤となる理念です！

校区内の小学校・中学校が協力して取り組むこと

グループワーク

データが示す子どもたち・若者たちの今後の学校におけるキャリア教育の在り方

「キャリア教育を充実させるための基本方策」

1. 教育方針の明確化と教育課程への位置づけ
2. 重視すべき教育内容・方法と評価・改善
 - ・多様で幅広い他者との人間関係の形成
 - ・社会や経済の仕組みなどについての理解の促進
 - ・体験的な学習活動の効果的な活用
 - ・キャリア教育における学習状況及び教育活動の評価・改善
3. 教職員の意識・指導力向上と実施体制の整備

参加者のアンケートより

「なぜ、キャリア教育なのか」「全教職員で共通理解を図り、小中連携をすることの大切さ」がよく分かりました。

研修会の資料は、校内研で伝達するなどして、職員間で共有してください。

「各学校ごとの事前課題」(個人ワークシート)

本校の子どもと学校の特徴(強みと弱み)

- ・学校規模・立地条件・伝統や文化・施設設備等
- ・教職員集団としての特徴、地域担当者の役割
- ・保護者・PTAの特徴(強みと弱み)
- ・学校へつながっている地域の個人・組織等

共通の意識を持つ

「中学校区ごとの伸ばしたい力」(グループワーク)

中学校区の児童・生徒の特徴について話し合う
 中学校区として、**キャリア教育を通して特に重点的に伸ばしていくべき力**について出し合う
 そのために利用できる資源(3つの強み)を考える
 ・学校/教職員の強み・地域社会の強み・保護者/PTAの強み
 各中学校区でまとめられたシートを確認してみると、次のようなキーワードが多くの学校であげられていました。

- ・自主性
- ・表現力
- ・協調性
- ・課題を見つけ、解決する力
- ・将来設計と自己実現していく力

教科をこえた学校全体での取組ばかりですね。

この構想を実現するために、校区内の小学校・中学校が協力して努力すべきことを話し合う

各校区の連携や協力を強めていってほしいです。

東部地区のある学校では、キャリア教育の理念を校内研究の基盤として教育実践を始められました。小中連携を意識して様々な取組が始まる中で、生徒指導や人権教育の基盤としても、キャリア教育の視点を生かし、発展的な実践が行われることを期待しています。

学事コーナー

出勤簿への捺印は確實ですか？！



各学校で、毎朝、「出勤簿」に捺印されていないか、何日分がまとめ押しがされたりするという事はないでしょうか。

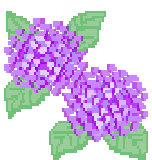
「出勤簿」とは、給与の対象となっている所定の日、勤務していたかどうかを示す帳簿です。「出勤簿」に押し印していないということは、勤務を証明できないということになります。言い換えれば給与を支給することができない、ということにも解されます。「出勤簿」については、下記のような規定がなされています。

【鳥取県東部の各市町の小学校及び中学校職員服務規程】

「職員は、所定の時刻までに出勤し、出勤簿に捺印しなければならない」

【「出勤簿の整理・表示方法について(通知)」の一部改正について(平成14年3月28日鳥取県教育委員会教育長)】

「校長は、職員の勤務状況を的確に掌握し、出勤簿にその状況が明確かつ厳正に記録されるようにしなければならない」



われわれ教育公務員は、法令遵守の観点からも、全体の奉仕者として望ましい行動をとるべき存在としても、当然、出勤したら出席簿に捺印をしなければなりません。

「学校の先生は、出勤印を押さないことがあってもいいですか？民間では、考えられない。」ということも耳にします。ぜひ、各学校で、出勤簿等の帳簿の記載が速やか且つ確實に行われるよう、一人一人が自覚し、習慣化することを改めて確認してください。